

全国がんばる林業高校生表彰の実施について

「全国がんばる林業高校生表彰」は、将来の森林・林業を担う人材として、日々自己研鑽や様々な社会活動に取り組んでいる林業高校生を応援するため、全国林業研究グループ連絡協議会が令和2年度から開催している表彰行事です。

令和3年度は、「地域の森林・林業を応援する」というテーマで、全国から15点の意欲的な活動・研究が報告され、厳正なる審査の結果、熊本県立南陵高等学校の「もっと”木育!推進班」(代表:松崎宗太さん(2年)、平野秀太郎さん(1年)、福田明純さん(1年))が最優秀賞である林野庁長官賞を受賞しました。2月28日には南陵高等学校において、同校の増村校長、中村教諭などの同席の下、賞状が授与されました。班代表の3名はそれぞれ、森林・林業系大学への進学や熊本県・林野庁への就職を志しているそうで、「もっと”木育!推進班」で活躍する生徒達の今後の活躍が期待されます。



賞状授与式(中央向かって左から福田さん、松崎さん、平野さん)



「もっと”木育!推進班」の活動について

令和2年7月の熊本県南部の豪雨災害後、「がんばろう!人吉・球磨」を合言葉に、授業で学んだ知識や技術を活かしながら、地元企業や地域住民と連携して復旧・復興を支援する取組を行ってきました。

- 取組1 豪雨災害「復旧・復興支援ボランティア」活動
- 取組2 特定避難施設・仮設住宅における「木育」活動
- 取組3 豪雨災害被災施設への「木くばり」活動
- 取組4 人吉・球磨管内応急仮設住宅における「植育」活動
- 取組5 広葉樹の苗木づくり「普及・啓発」活動

仮設住宅での木育活動



香り袋製作ワークショップ

